

事務事業名						献立物資検討会運営事業（学校給食）							事業区分				担当			
													新規/継続		継続		事務事業No.		030101000403	
						政策体系上の位置付け							単独/補助		単独		所属課		090201	
政 策 体 系	総合計画の施策名					0301 学校教育の充実					主要事業		対象外				桜川学校給食センター			
	政策名					03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり					市長マニフェスト		対象外							
	施策名					01 学校教育の充実					未来PJ事業		対象外		グループ		学校給食グループ			
	基本事業名					01 安心安全な教育環境づくり					合併建設計画事業		対象外							
						財務会計上の位置付け							事業期間							
予算科目	会計		款	項	目	事業	細	一般会計				単年度繰返し（平成17年度～）								
	01	10	01	04	02	01	学校給食センター事業				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入									
法令根拠		学校給食法																		

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	献立物資検討会運営事業（学校給食）	事務事業No.	30101000403	所属課	桜川学校給食セン
-------	-------------------	---------	-------------	-----	----------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

・平成17年10月に合併してから市内同一献立を作成し、より安心安全な献立で原材料費をもっとも有効的に利用するため、献立物資検討会を毎月1回開催することとした。平成17年7月15日に「食育基本法」が施行され、食に関する指導が教育の一環として行われることが明確化された。子どもの望ましい食習慣の形成や食に関する理解の促進のため、学校給食の役割は重要性を増している。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

・センター職員と学校関係者が携わることで結果、献立内容に学校側の声が反映されることとなり、より充実した給食の提供を可能にしている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） ☒ 結びついている ・桜川市未来プロジェクト・明日を支える人づくりプロジェクトで「食育普及事業」は重点事業とされている。この事業は「食育普及事業」の一環なので結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） ☒ 妥当である ・桜川市未来プロジェクト・明日を支える人づくりプロジェクトで「食育普及事業」は重点事業とされているので公共関与は妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） ☒ 向上余地がない ・現在献立物資検討会議はセンター職員と学校関係者の意見交換の場にもなっており、一定の成果を上げている。現状で十分役割を果たしている。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） ☒ 影響有 ・市の政策体系に結びついた事業なので、廃止・休止の対象にならない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 ☒ 余地がない ・現在でもセンター職員と学校関係者が関わっており、一定の成果を上げている。現状で十分連携が取れている。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） ☒ 削減余地がない ・非予算事業なので削減余地がない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） ☒ 公正・公平である ・この事業は「食育普及事業」の一環で、桜川市の次代を担う子どもたちのための事業なので公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																					
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	・センター職員と学校関係者が携わることで結果、献立内容に学校側の声が反映されることとなり、より充実した給食の提供を可能にしている。																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																					
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う → ☒ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		（複数回答可） ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑤ コスト削減優先度評価結果 ⑧																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐